



大砂土東小だより

学校教育目標 心ゆたかに かしくく たくましく

令和6年4月26日 発行
さいたま市立大砂土東小学校
電話:684-8003 第2号
<http://osatohigashi-e.saitama-city.ed.jp>

子どもたちのふるさと「さいたま市」

校長 武田 泰之

大砂土東小学校のシンボルツリーである「松の木」の新芽が芽吹く季節になりました。

令和6年度がスタートして、1か月。入学、進級した子どもたちの様子はいかがでしょう。学校では、新しいクラスにも慣れ、自分らしさを発揮しながら活動する姿が少しずつ見られるようになりました。それとともに、新年度当初の新しいクラスでの緊張感の中での1か月でしたので、そろそろ疲れが出てくる頃と思われます。子どもたちの心と体の変化に十分注意して教育活動を実施してまいりたいと考えております。

さて、皆様、5月1日が、学校の休業日であることはご存じでしょうか？以下のとおり、令和3年度に条例が制定され、さいたま市の小・中学校管理規則が改正されたことにより、5月1日は学校がお休みになりました。

「さいたま市民の日」における学校の取組及び休業について

令和3年度、さいたま市誕生20周年を迎える節目の年に、市民が郷土である本市の歴史や文化に親しみ、市民としての一体感とまちづくりに自ら参画する意識を高め、魅力ある本市を将来にわたって創っていくことを期する日として、市制がスタートした5月1日を市民の日とする条例が制定されました。さいたま市立学校におきましては、市民の日の前後に市の成り立ちや歴史を学ぶ取組やさいたま市の魅力を認識・発見できるような取組を実施するとともに、子どもたちが改めて郷土の歴史や文化に触れる機会とするため、市民の日は学校を休業することになりました。



本校では、教育活動の中でさいたま市を取り上げ、子どもたちがさいたま市の魅力を認識、発見できるような取組をいくつか実施しております。

1 さいたま市を紹介する校長講話の実施

さいたま市の成り立ちや文化、「さいたま市民の日」制定の意図等について、子どもたちに分かりやすくイラストや写真を活用してテレビ放送にて講話を行っています。

2 社会科の学習と関連付けた「さいたま市民の日」の紹介

主に3年生の社会科などにおいて、さいたま市の特色のある地域と交通、地形などの様子について触れながら、「さいたま市民の日」についても、子どもたちに知らせています。



都市と自然の調和



市内に9路線31駅ある鉄道のまち

3 さいたま市の歌「希望(ゆめ)のまち」の放送

4月22日(月)から、さいたま市の歌「希望(ゆめ)のまち」の楽曲を毎日、給食時に放送し、子どもたちがさいたま市への愛着を高められるようにしています。

4 「さいたま市民の日」献立の実施

4月23日(火)「さいたま市民の日」献立として、さいたま市産の大根、小松菜を取り入れた味噌汁を子どもたちに提供しました。また、栄養教諭が子どもたちに分かりやすく、さいたま市産の野菜について説明したお手紙を各学級に配付しています。なお、この取組は、テレビ埼玉にも取り上げられ放映されました。本校では、このような取組等を継続して実施し、ふるさと「さいたま市」を大切に思う子どもたちをはぐくんでまいります。

明日から始まる大型連休につきましては、新しい環境の中で、緊張感をもって頑張った子どもたちの1か月の疲れをとり、心も体もリフレッシュして連休後の活動がさらに充実したものとなりますよう保護者の皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。